

平成 31 年 1 月 4 日 仕事始め式 美郷町長あいさつ

皆さん、明けましておめでとうございます。

年末年始はゆっくり休んで、英気を養えたでしょうか？

新しい年が始まりました。今年は今生天皇がご退位され、皇太子さまがご即位され、名実ともに新しい時代が始まります。

「亥年」は株式相場の格言で「いのしし固まる」と言われ、新しいステージに進むための準備期間であり、しっかりエネルギーやパワーを蓄える年と言われています。

「亥」は十二支の中で第 12 番目、最後の干支で、次の年には最初の干支「子（ねずみ）」に循環します。「子（ねずみ）」は株式相場の格言で「ねずみ繁盛」と言われ「新しい生命が種子の中に萌し（きざし）始める」年です。つまり、「亥」は次の段階へ進むための根固め期間という位置づけになります。

さて、私にとっては町長就任後、初めての新年、仕事始めであり、改めて気が引き締まる思いでいます。

就任以来、目指したい町のあり方として「活気あふれる明るい町」と「町外と活発な交流のある町」の二つを繰り返しお話してきました。この目標に向かって、本年を美郷町の新しい時代の「礎の年」と位置づけ、一年間取り組んでいきたいと思っています。

これから詰めていく 31 年度の施政方針や予算編成においても、こうした礎となる取り組みを盛り込む予定にしています。

概要をご紹介しますと、大きく 4 つの取り組みを重点的に盛り込みたいと考えています。

1 つ目は「情報発信力の強化」です。具体的には、既に着手していただいているのですが、町のコンセプトを明確にして訴求力を強化するための「町の要覧の刷新」、情報インフラ整備として「HP の刷新」、町の認知度や話題性を上げるための「みさ坊のプロモーション活動」などです。

2 つ目は「山くじらブランドの進化」です。皆さんご承知のように山くじらの取り組みについては、全国から毎週のように視察にお越しいただいているように、鳥獣害対策、ジビエビジネスの成功例として高く評価されています。今後は、この山くじらの活動を、更に町外から、ひと・もの・かね・情報が集まる次のステージへ進化を図りたいと考えています。

3つめは「新技術・規制緩和の実用化に向けた取り組み強化」です。特に、多様な用途が考えられるドローンについては地元民間企業を含めた協議会を早急に立ち上げることを考えています。また、自動運転についても様々な技術とそれに関連した企業が沢山あり、実現性を見極めながら検討を進めていく予定です。

4つめは「定住推進施策の進化」です。これまで定住推進については、他自治体と比べても先進的で踏み込んだ施策を展開し、成果を挙げてくることができました。しかし、こうした手法も一巡し現在は踊り場を迎えており、次のステージに進化する必要があると考えています。例えば、1月中旬には定住を中心とした内容の新聞広告を予定しています。こうした潜在的なUIターン者へのアプローチ方法の多様化や、通勤可能な近隣市町村にある企業への売り込みなど新しい手法を取り入れて進めていきたいと考えています。

11月5日の就任式で、皆さんに3つの意識を持って業務にあたってほしいというお話をさせていただきました。一つは「役場は住民総合サービス株式会社」であるという意識、一つは「ビジネス感覚」の意識、一つは「改革マインド」の意識です。そして、「金はないけど知恵がある」と全国から言われる役場を目指したい、とお話しました。

今申し上げた4つの取り組みは、成功すればまさに「金はないけど知恵がある」と言われるのにふさわしいテーマです。

どこか一つの課や係の仕事だとか、他人事と思わずに、美郷町の未来のための取り組みとして全職員が関心を持ち、積極的に関わっていただくことを期待します。

もちろん通常業務も重要です。皆さんには今までの業務に加えて、新しい取り組みをお願いすることになります。そのためには、一人一人が業務の効率化やスピードアップに取り組んでいただく必要があります。一人一人が仕事の付加価値の向上に努めていただくよう、更なる努力、工夫をお願いします。

これから一年間、皆さんと一緒に仕事をすることを楽しみにしています。一緒に美郷町の未来を作っていきましょう。最後になりますが、皆さんと皆さんの家族がこの一年間健やかに過ごされますことを祈念しまして私の仕事始めのあいさつとさせていただきます。